

# 祝！大熊町・バサースト市姉妹都市締結30年

大熊町とオーストラリア・バサースト市の姉妹都市協定は2021年3月25日、締結30年を迎えました。同日、両市町は互いをオンラインでつなぎ、画面越しの再会と長年にわたり継続されてきた交流を喜び合いました。



オンライン式典で対面する両市町の関係者



オンラインでの記念撮影に収まる両市町の関係者



調印した協定書を持つ吉田町長



調印した協定書を持つボビー・バーク市長

## 30周年記念し再協定

姉妹都市協定は1991年3月25日に結ばれました。本来は、記念事業としてバサースト市へ渡航を希望する町民を募り、3月に同市で節目を祝う計画でしたが、コロナ禍により断念せざるを得ず、記念の式典は限られた参加者によるオンライン開催となりました。

式典でバサースト市のボビー・バーク市長は、1998年に同市に完成した日本庭園「大熊ガーデン」に触れ、「大熊の一部分がバサーストに生きています。この庭園は市民、町民の親密な関係を示しているばかりではなく、大熊町民の希望と復興を象徴しています」とあいさつ。吉田淳町長は、「東日本大震災後も継続された交流を振り返り、「こうして30年を迎えられるのは、混乱の中にいた私たちをバサーストの皆さんが温かく見守り、励まし、交流を継続できるように尽力してくれたから」と感謝しました。

最後に両首長が姉妹都市協定書に再調印し、これからも親交を深めていくことを約束しました。



## 両市町で記念植樹

姉妹都市協定締結30年を記念し、両市町で植樹を実施しました。

バースト市では東日本大震災から10年を迎えた3月11日、大熊町の復興と姉妹都市関係の深化を願い、大熊ガーデンに百日紅が植樹されました。

大熊町では3月25日の式典後、整備中の頭森公園に八重桜「はるか」を植樹しました。



大熊ガーデンに植えられた百日紅



大熊ガーデンで植樹するポビー・パーク市長ら

植樹した「おおくま国際交流協会」の松永秀篤会長は「この節目の年にコロナ禍で直接会えなかったのは悔しいが、私たちの交流は東日本大震災でも途絶えなかったことを思い出した。大熊ガーデンの百日紅を見に行ける日が来ること、頭森公園のはるかをバーストの皆さんに見てもらう日が来ることを信じている」と話しました。



頭森公園で植樹する吉田町長ら



頭森公園に植えられた八重桜

### バースト市って？

バースト市は、オーストラリアの南東、ニューサウスウェールズ州に位置する自然豊かな都市です。面積は約 3,820 平方キロメートル、人口約 44,000 人。シドニー市から北西へ約 200 キロメートル。オーストラリア内陸で最初のヨーロッパ入植地として知られ、2015 年には創立 200 周年を迎えました。レーシングカーのサーキット場は世界的に有名。農業、畜産業も盛んです。



### バースト市との交流の始まり

1989（平成元）年、町は「ふるさと創生一億円事業」の内容を町民に公募。決定された事業の一つが、21 世紀に向けた人材育成を目的にした海外派遣事業「大熊町二十一世紀の翼」でした。

行く先は、英語圏の中から、温暖な気候や治安の良さを評価し、バースト市が選定されました。1990 年 3 月に第 1 回目の訪問を実施し、「友好都市」として協定を締結。その翌年、友好都市協定を発展させる形で「姉妹都市協定」が結ばれました。



### これまでの交流

海外派遣事業「大熊町 21 世紀の翼」1990 年～計 12 回  
 中高生を中心とした国際交流事業「おおくま希望の翼」2001 年～計 16 回  
 上記事業でバーストに派遣された人数のべ約 1,040 人  
 このほか短期交換留学生制度を活用した留学生 11 人



## バースト市と大熊町 30年の歩み

1989年12月

町が事前訪問視察団を派遣。バースト市に友好都市提携を申し入れる。

1990年2月

バースト市の親善使節団が来町。相互交流を約束する。

1990年3月

第1回「大熊町21世紀の翼」実施。町民250人がバースト市を訪問。友好協定を結ぶ。(写真⑥)

1991年3月25日

バースト市にて姉妹都市協定締結。ホームステイを中心に互いの市民の交流が始まる。(写真④)

1998年3月

バースト市内に「大熊ガーデン」が完成。(写真⑤)

2001年3月

第1回「おおくま希望の翼」実施。



④姉妹都市協定書に署名した当時の志賀秀朗町長とアン・アッシュウッド市長（1991年）



①バースト市の交流会で踊りを披露する町民（1990年）



⑤バースト市内の大熊ガーデン（1998年）



⑥バースト市内の自然公園でカンガルーとふれあう子どもたち（1990年）



③大野小での習字体験（2006年）



②バースト市内に到着した町民ら（1991年）

## バースト市からのメッセージ

バースト市が姉妹都市締結30年を記念したメッセージ集「バースト市・大熊町姉妹都市締結30年を祝う」を作りました。その中に掲載された大熊町民へのメッセージを一部和訳して紹介します。



筆子・リーキーさん

バースト市在住の日本語教師。姉妹都市締結に尽力し、通訳を務めるなど現在までの両市町の交流にかかせない架け橋のような存在である。

大熊の人々は「起き上がり小法師」のように転んでも起きる精神を持っています。そして前のみを見て進んでいます。私は、バースト市民とともに大熊の明るい将来を、そして大熊とバーストが今後何代にもわたり、より深い友好関係を保ち続けることを願ってやみません。姉妹都市関係を通じて、私に喜びと楽しみをもたらしてくれたバーストと大熊に感謝の気持ちでいっぱいです。

この友情が永遠に続きますように

2011年3月11日

東日本大震災発生。3月下旬に計画されていた「おおくま希望の翼」を中止。

2012年8月

「おおくま希望の翼」再開。  
(写真⑨)

2014年4月

バサースト市長をはじめとする使節団が来日。避難先の会津若松市や全町避難中の町内の様子を視察する。(写真⑨)

2015年5月

町使節団がバサースト市創立200周年行事に参加。姉妹都市協定締結25周年を記念し再調印。(写真⑧)

2018年11月

バサースト市の使節団が来日。町内で建設中の町役場新庁舎などを視察。(写真⑩)

2021年3月25日

コロナ禍により「おおくま希望の翼」を中止。姉妹都市協定締結30年を迎える。



⑩新庁舎建設を視察するバサースト市使節団 (2018年)



⑦大熊中の仮設校舎で交流する子どもたち (2015年)



⑪ホームステイ先のホストファミリーとの別れを惜しむ町民 (2012年)



⑧締結25年を記念し再調印する当時の渡辺利綱町長とギャリー・ラッシュ市長 (2015年)



⑨会津若松市内で町民の歓迎を受けるバサースト市使節団 (2014年)

全文は町公式ページで公開しています。ぜひご覧ください。



多くの写真をバサースト市より提供いただきました。ありがとうございます。

私が来日し、大熊の学校で教鞭をとることができた事は、私の人生において一生に一度の大変素晴らしい経験となりました。中でも、大熊の子どもたちに英語を教えることができたことを最も光栄に思っています。日本での一番の幸せな思い出は、明るくユーモアにあふれ、ちょっと生意気で、とても賢い大熊の子どもたちと一緒に過ごした教室での時間です。私はこの経験を一生の宝物として決して忘れないでしょう。



ジョン・ビドルさん

2013年～2018年、大熊町教育施設での英語指導助手 (ALT) としてバサースト市から派遣される。